

縄南中通信



平成27年12月 1日 発行
2015年度 第8号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

「縄南道」の目ざす「人格形成」をさらに推進せよ！

11月5日（木）に、縄手南中学校と縄手南小学校が小学校の教室をお借りして公開授業を実施しました。これは今年度、東大阪市教育委員会のトライアルスクール推進事業に係る小中連携推進事業の一貫によるものです。縄手南小中学校は今年度、小中連携をテーマにこのトライアルスクール推進事業に取り組んでいます。“当たり前のことを当たり前に行う”ことが縄手南校区でのミッションでありますので、今年度のスタートに当たる4月3日には、幼稚園も含め幼小中の合同の研修会を持ち、“20歳の成人式を迎えた時に、人の話をきちんと聞き、成人の式典に当たりの形で参加でき、そして会場を去る時には裏方でお世話頂いた方々に「ありがとうございました」とお礼を言える大人にすること”を目ざした「**人格形成**」を柱とした**教育活動**を展開しようと縄手南幼小中学校園で確認しました。そして「**人格形成**」を意識した各学校園での日頃の授業や部活動、行事を通じた取り組みを実施しています。特に授業では学力向上を目ざした授業を研究し、実際に縄手南小中学校で取り入れようとしています。今回は公開授業の後、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課から武藤久慶氏（教育制度改革室室長補佐）をお招きし、縄手南中学校区の現状と小中連携の取り組みを検証する目的で、「**なぜ今、小中連携・一貫教育が求められているのか**」というテーマをもとに、「**背景、本質を深く理解し、優れた取組事例から具体的イメージを学ぶ**」をサブテーマとして3時間を超える研修を持ちました。今回の縄手南校区の取り組みは市内全体の小中学校に対して、東大阪市教育委員会の悉皆研修としても位置づけられました。武藤久慶氏のお話の中で、「**縄南道**」と共通する内容がたくさんありました。文部科学省の教育改革室室長補佐というお立場ですから、義務教育における様々な分析をされているのは当然のことです。その中で、「**学力向上**」という観点から結果を残している学校にはどのような特徴があるかということをお話されました。“児童生徒の勉強しているときの姿勢が良いこと”“荷物が整理整頓されていること”“掃除が徹底されていること”“正しい言葉遣いができていること”“時間が守れていること”“しっかりとあいさつができる”等です。武藤久慶氏は「私は教育学者ではありませんが、たまたま300校、400校と学校を訪問していると気づいたことなんです。」と話されていました。武藤氏は近年の児童生徒に関する問題、また学校に関する諸問題、さらに地域や家庭の環境に関する諸問題等を分析していると、これまでの義務教育の6・3制という区切りを見直したり工夫したりする必要があるとお考えになられ、6・3の硬直的区切りへの疑問を示唆されていました。学校規律の観点から、学習規律の観点から、社会性育成機能強化の観点から、生活環境や実態への対応の観点から等、さまざまな視点から話されていました。また学校単体での限界認識についても示されていました。さらに興味深かった内容としては“**隠れたカリキュラム**”についてです。例えば常に時間に厳しく、あいさつにも厳しくこだわって指導していると、社会生活において当たり前のことが身につく、自らの意欲を高め、ひいては学力の向上につながるということです。また逆に、例えば

整理整頓に対して常に意識し指導し続けていなければ、それは裏を返せば整理整頓をしなくても良いということを経日指導し続け、そして整理整頓しないことを児童生徒に習慣づけてしまっているといったことです。こうした隠れたカリキュラムは日常にはたくさんあります。結果を残している学校、成果の上がっている学校の特徴としては、これらの隠れたカリキュラムについてきちんと指導を継続しているということです。継続することによりそれが「当たり前」となり、「当たり前」のレベルがどんどん向上しているのです。

縄手南中学校は日本一を目指しています。そして「人格形成」を基本としています。生徒諸君には日頃から伝えているように、勝つ時には必ず「勝因」があり、負ける時には必ず「敗因」があります。そして「勝因」の要素は「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」であり、「敗因」の要素は「いい加減」「適当」「だいたい」です。また、「縄南道」における「人格形成」は学力向上においても必要不可欠な要素であると考えています。武藤氏が言われる「隠れたカリキュラム」は、まさしく「縄南道」における「勝因」と「敗因」に通じると感じました。「勝因」を育て「敗因」を無くすという単純なことに、いろいろと言いつねを重ね、気がつくとも「敗因」を並べたてる「隠れたカリキュラム」を育てるのではなく、当たりのことを当たりに実行し、「勝因」を育てる「隠れたカリキュラム」を創造していかなければならないと再確認できました。言葉では簡単ですが日々の生活の中にはいろいろなことがあります。それでも前進あるのみで、歯をくいしばって前に進まなければなりません。前に進むための休憩は大いに結構ですが、あきらめるための停止は禁物です。「勝因」を育てるためにはまず「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」からですので、縄手南中学校の生徒諸君はぜひ「縄南道」のもとさらにこれからも全力で「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を徹底させて欲しいと思っています。

東大阪イメージソングプロモーションビデオに縄手南中学校生徒が出演します。

『東大阪めっちゃ元気な「まち」やねん』（東大阪イメージソング、つくくみ作曲）のプロモーションビデオが新しくなるということで、その一部に縄手南中学校の生徒が出演します。先日、東大阪市広報から依頼があり11月24日（火）に本校で東大阪ケーブルテレビによる録画撮りがありました。「めっちゃ明るいまちやねん」という歌詞の約10秒程度部分の録画撮りですが、各クラブの代表生徒と生徒会本部役員にアドバイザースタッフの旭道南青さんも加わっていただき撮影を終えました。完成版は12月7日（月）から東大阪ケーブルテレビ番組『虹色ネットワーク』で流れ、東大阪市HPでも配信されるということです。今後数年間はこのプロモーションビデオが使用され、東大阪市の花園ラグビー場も会場となる2019年ラグビーワールドカップの際にも発信されるでしょうとのことです。

クラブ等の主な記録

陸上 第49回東大阪市総合体育大会

男子中学3年3000m 3位 北西海人 10' 08" 15、女子中学3年100m 3位 荒谷涼葉 13" 61

男子中学1、2年 100m 2位 二井悠太 11" 60、 200m 2位 三木太晴 25" 18

第49回東大阪市民体育大会

男子中学共通800m 3位 北西海人(3年) 2' 12" 89、女子中学3年100m 2位 荒谷涼葉 13" 34

男子中学2年100m 2位 二井悠太 11" 92、 女子中学2年800m 2位 奥村のえ 2' 41" 80

女子バスケット H27年度冬季中河内地区中学校大会 優勝

大阪府中河内支部主催支援教育研究会中学生屋内スポーツ大会

卓球 男子の部 準優勝 中山龍也(1年)、女子の部 準優勝 西岡歩美(1年)

第49回東大阪市立中学校・高等学校生活体験意見発表大会

学校代表 小塚心喜(3年) 題名「ありがとう」